

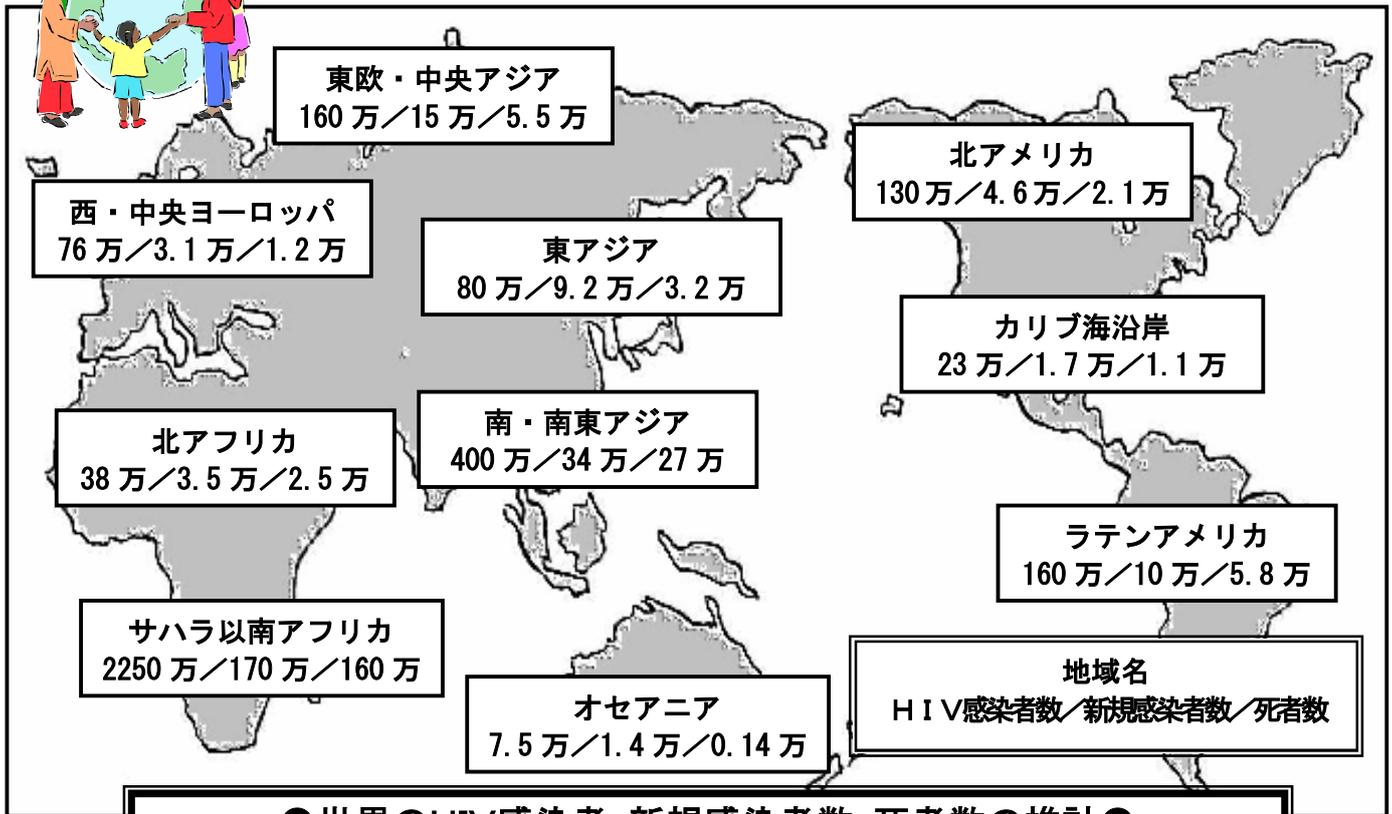
おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>
i-mode <http://www.yaic.gr.jp/i/>

発行: 横浜AIDS市民活動センター
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F
TEL: 045-650-5421 / FAX: 045-650-5422
e-mail: info@yaic.gr.jp
平日: 13:00~20:00 / 土・日・祝: 10:00~17:00
(火曜日 夜間検査のため休館)
監修 横浜市健康福祉局

☆世界のHIV感染者・AIDS患者2007年末推計統計☆

～国連合同エイズ計画(UNAIDS)世界保健機構(WHO)発表～



●世界のHIV感染者・新規感染者数・死者数の推計●

- ① 世界でHIVに感染している人は、3320万人(内訳:成人3080万人、子供(15歳未満)250万人)です。
- ② 感染者の多いアフリカやアジア諸国のなかでも、ケニア、ジンバブエ、タイ、ミャンマーなどでは、人口に占める感染者の比率が減少しました。
- ③ 世界全体の死者数は2005年の220万人をピークに、抗ウイルス薬が普及し始めたことにより、07年は210万人と減少しました。
- ④ サハラ以南・アフリカに世界の感染者のうち68%を占め、依然、アフリカなどでは深刻な問題となっています。アジアではインドが250万人、タイ、カンボジアでは感染率が下がりましたが、ベトナムやインドネシアでは逆に感染率が高くなっています。

※ 国連合同エイズ計画、世界保健機構では、感染者の把握体制が向上したことにより、昨年の推計が下方修正されました。(昨年時点の感染者数3950万人→下方修正後3270万人になりました。)





2007年・冬のイベント報告



☆全国ふるさとフェア2007☆

11月3日(土)・4日(日) 10:00~17:00 横浜赤レンガ倉庫イベント会場



縁あって“オカモト株式会社”さんとのコラボイベント！！
イベント名からも想像が付く通り、「北は北海道、南は沖縄～うまいもの盛り沢山！」のイベントで、飲食物ではないブースで参加しているのはココだけっ！と、言うような雰囲気。前日2日、雨雲の中の搬入…。小雨が降り始める中の準備…。不安な夜…。しかし、天気は味方し、2日間とも暖かな秋空になりました！

おかげさまで、たくさんの方々に足を止めていただき、展示パネル等ブースを見ていただきました。啓発用パンフレット・グッズは約2000セット、オーケース約1200ヶ、その他パンフレットも約1000部、あっという間になくなってしまいました。(2日目遅く来た方ゴメンナサイ。)

今回は、イベントがら本当に幅広い層の方々にアピールできたのでは！？と思います。もちろん、ブース出展者の方々にも予防啓発&横浜ってこんな施設があつてすごいんだー！！って所もアピールしてきましたヨ！（しっかりパンフレット読んでくれてるかしら??）

遊びに来てくれた皆さん。話を聞いてくれた出展者の皆さん。リードしてくれたオカモト株式会社の皆さん。イベント主催の皆さん。…など関係者の皆さんあ～ん！！本当に、ありがとうございました m(_)_m

2日間とも、楽しく、勉強になる時を過ごしました。是非、来年も宜しくお願いします(笑)



☆世界エイズデー2007in Yokohama☆

11月25日(日) 10:00~16:00 横浜そごう前新都市プラザ

12月1日は世界エイズデーということで、横浜そごう前の新都市プラザにて世界エイズデーイベントを行いました。このイベントはHIV・エイズについて理解し、家族や友達と一緒にHIV・エイズについて考えてもらうきっかけになればとの思いで開催しました。イベントでは、素敵な商品が当たるクイズ大会、予防啓発パンフレット&グッズやセンターオリジナルの condom ケース“オーケース”を無料配布などを行いました。

他にも、センターに事務局を置いているボランティア団体“アジアの女性と子どもネットワーク”、“AIDS ネットワーク横浜”に協力していただき、プラ版や、リボンでレッドリボンを作るコーナーも開催し、たくさんの方に参加していただきました。



☆第1回オーケースコンテスト☆

センターオリジナルの condom ケース“オーケース”をより多くの人に知ってもらおうと開催したこのコンテスト。最初は応募が一つもなかったらどうしよう…という不安もありましたが、なんと横浜市内に限らず、全国から応募がありました。応募作品は全部で16作品でした。投票は11月25日に行った世界エイズデーのイベントの中と、センターに来館していただいた方にさせていただきました。そして、投票の結果は以下のようになりました。

最優秀

横浜市
O・Mさん
の作品



優秀

岐阜県
I・Hさん
の作品



優秀

静岡県
H・Nさん
の作品



コンテストに応募していただいた作品は、センター内にて展示してるので、ぜひ見に来てくださいね！



知ってるかな？ 性感染症～性器ヘルペス～

性器ヘルペス

とは？

単純ヘルペスウイルスが原因となる病気です。このウイルスは、唇や口の中などにできるものと、性器やその周辺にできるものと2種類あります。性器やその周辺に出来るヘルペスを性器ヘルペスと呼びます。

性器ヘルペスの症状

症状には“急性型”と“再発型”とあります。



“急性型”とは

初めてウイルス感染した時などです。感染すると、性器周辺にかゆみなどの違和感を感じます。そのあと激しい痛みが出始め、性器などに水ぶくれや潰瘍がたくさん出来たり、非常に強い症状が出ます。症状が重いと、痛みで歩くことが出来なくなったり、排尿も困難になったり、入院することもあります。

“再発型”とは、

初めて感染した後、症状が治まっても、ウイルスは体内にすみついてしまいます。これがこの病気のやっかいなところです。ウイルスが体内にすみついていて、風邪をひいた時や、ストレスがたまっている時、月経時など体調が落ちたときに再発します。再発時は初期感染の時ほど症状が重くなく、水ぶくれが1、2個出来る程度です。しかし、症状が軽いからといって人に感染させる程度ではないとは思ってはいけません。症状が軽くても、十分、人に感染させる原因となるので要注意です。



症状が出たからといって…

性器ヘルペスは性的接触で感染します。“急性型”ではない場合は、感染したら、そのとき付き合っていた人から感染したかとも思ってしまいますよね。性器ヘルペスは感染しても、すぐに症状が出る人は少なく、感染してから数年(時には十数年)後に症状が出ることもあり、症状が出たからといって、原因が今のパートナーにあるとは限らないんですよ。

感染と予防

性器ヘルペスは、性的接触により感染しますが、ウイルスが口の中にいる時などは、キスなどでも感染することがあります。性器ヘルペスはコンドームで予防できますが、コンドームに覆われない部分に水ぶくれや潰瘍が出来ている場合(ウイルスは水ぶくれや潰瘍の中にいます)には皮膚が触れることによって感染することがあるので、100%コンドームでは予防できません。症状が出ている時には、絶対に性的接触、患部に触れたタオルの共用などはやめましょう。



どれくらいで治るの？



症状に応じて鎮痛剤やウイルス薬などで治療します。初めて感染した時には4週間くらい、再発の場合は1週間から10日間程度で自然に治癒しますが、初期感染の場合は、そのままにせず、すぐに病院に行きましょう。放置していると、尿道炎になったり入院が必要になってしまう場合があります。再発した時も、病院へ行って治療をした方が、早く症状がおさまります。症状が出た時には、人に感染させてしまう前に早く治療しましょう。

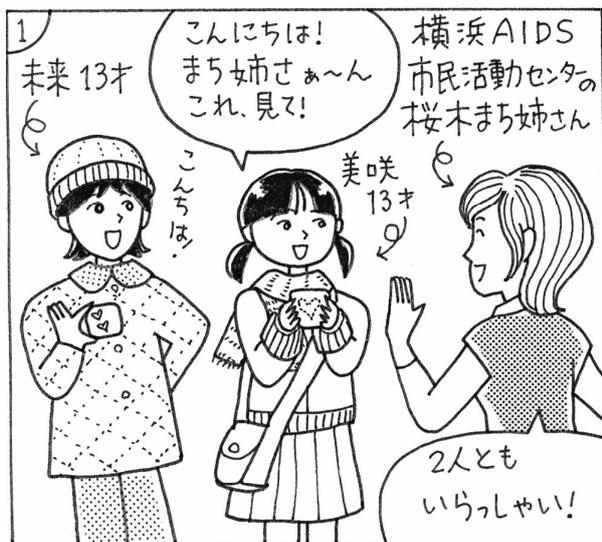
大切なこと～

性器ヘルペスは、感染してしまうと一生の付き合いになってしまいます。感染しないようためにはきちんと予防をしましょう。もし、感染してしまっても、再発しないよう体調の管理をきちんとしましょうね。

☆新・教えておねえさん～尾上家編～☆

こんにちは！私の名前は桜木まち。横浜 AIDS 市民活動センターで事務局員をしています。エイズについて考えてくれるみんなを応援する施設です。中学生になったばかりの拓海くんと未来ちゃんはカラダの変化や、ココロの悩みなど、不安になることがたくさんあるみたい。このマンガでは拓海くん未来ちゃんの悩みに、まねえさんが答えてくれます。さて、どんな質問が飛び出すでしょう？

このマンガは中学校の養護教諭の先生にご協力いただいております。
横浜市立今宿中学校 養護教諭 大津留 幸子 先生



“計画と選択”

結婚して子供が欲しいカップルには、コンドームは不要です。今は子供が欲しくないカップルや、性感染症予防には、コンドームが必要です。その人の生活に合った選択をしていくことが大切です。自分を大切にする第一歩。まずは「考え」てみませんか？